

第2回「金城清幸さんを囲んで歌う会」開催



「師匠を囲んでの大饗宴」
(左から二人目が金城さん)

「金城清幸さんを囲んで歌う会」は今年で2回目。いつもお世話になっている金城さんへの感謝の気持ちと、歌を愛する人たちと楽しい時間を過ごしたいという思いから、金城さんから歌を習うメンバーが企画、運営し、ピースクラブも協力しています。6月4日午後2時から開かれ、食べ物、飲み物もあり、多くの方が駆けつけてくださいました。

金城清幸さんは沖繩本島南部の東風平町出身。幼い頃から民謡好きの両親の影響で、ラジオから流れる民謡をよく聴いて過ごし、自分の三線を手にするまではギターを使い、民謡のレコードをコピーするなど、「独学」で三線・沖繩民謡の練習をしていました。17歳の時、早弾きの名手、大城志津子さんから本格的

な練習をしていました。金城清幸さんは沖繩本島南部の東風平町出身。幼い頃から民謡好きの両親の影響で、ラジオから流れる民謡をよく聴いて過ごし、自分の三線を手にするまではギターを使い、民謡のレコードをコピーするなど、「独学」で三線・沖繩民謡の練習をしていました。17歳の時、早弾きの名手、大城志津子さんから本格的な練習をしていました。

「歌う会」に出演した「ピースクラブ」三線教室（正式名称は特にありません）

三線を習い始め、自分も早弾きの名手になりました。1972年の沖繩返還のあと、仕事を求めて大阪市大正区に移り住み、その後毎月第2金曜日の夜、喫茶キジムナーでライブをして

いるトゥーヌ・マーヌ楽団のメンバーと出会い、大正区の自宅で三線・民謡を教えるようになりました。現在は毎週月曜、火曜に三線・沖繩民謡を愛する人たちが集まり、勉強しているそうです。

よい通信作りは皆様のご協力があつてのことです、今後ともどうかよろしくお願いたします
(普)

まだこちらの事を何も分からない編集者ですが、分かり易く、読み易く、ちよっぴり面白い通信を目指しています。今回は編集に手間取り、取り上げるニュースが古くなってしまいました。これから順次改善し、しばらくはピースの流れに追いつくよう、頑張らなければと思っています。

ピースクラブ通信

創刊号

発行 社会福祉法人・ピースクラブ
住所 大阪府浪速区大国一丁目11-1
TEL & FAX 06-6647-2077
Eメール peaceclub@2.dion.ne.jp

はじめに

ピースに越してきて3ヶ月がたちました。これまでの因果で、ピースとピースに通つて来る仲間とそのご家族をつなぐ「通信」の発行をと言われてきましたが、ようやく第1号をお届けする運びとなりました。

ません)は酒井さとえさん講師に迎えてピースクラブ4階ホールで、毎月第1、3水曜日に民謡の中でも新しい曲を中心に、練習しています。金城さんの「孫弟子」にあたりますが、会場から

は、本番に強い!との声も聞こえてきました。「ゆつくり楽しくをモットーにやっていますので、興味のある方は覗いてみてください」とは、酒井さんの言葉です。

金城清幸さんを
囲んで歌の会



左から岸本、恭子、中間、郁也

障害者も高速道路で旅をするぞ!?

「障害者割引制度の改正を求める署名」提出

3月末に山口県からピースに越してきた晋作さん(書いてるのが本人なので気持ちが悪い)が昨年の12月から山口の仲間と始めた「高速道路障害者割引制度の改正を求める署名」が2945筆集まったので、5月31日(水)、ピースの仲間たちと北区堂島の西日本高速道路株式会社本社に提出してきました。

そのとき対応してくださった料金企画チームのお二人はほとんど沈黙したままでしたが、かろうじて民営化される前、私たちと同様の要望に答えた、国政モニターのQ&Aの言葉に基づき、四つの質問をしました。

一、割引の対象となる自動車(軽自動車)の範囲について、

「他の利用者の理解が得られるものとする必要」という意味はなにか。

二、障害者が高速道路を利用する場合、通勤、通学、通院が日常生活活動に必要と考えられる範囲とすることが「適当」という根拠は。

三、障害者以外の同乗者のために利用されるおそれがあり、自動車1台に限定するというが、ETC化の中では「不正」が悪質化すると思われるが、その点はどうか。

四、現行制度ではその要件を満たすことができず、制度が適用されない者がいることをどのように理解しているか。

この質問を私たちの言葉で分かりやすく言えば、

一、障害者が高速道路を利用するということはそんなに特別で、社会の理解を得ないといけないことなのか。そう思っているのは国や高速道路株式会社が社だけであり、社会の意識はもっと進んでいる。

二、一般の旅行が障害者



なだれ込むピース軍団?

にとって日常的なものではないと決め付けられるのは心外であり、もし障害者にとつて旅行が非日常であるというならば、それを日常化するというのが割引制度の目的ではないのか。その点の理解の欠如、傲慢さが感じられる。

4、一部の悪質な「不正」によって善良な障害者やボランティアがしわ寄せを受ける。ETC化の中で、1台限定を強化してその自動車の「不正」は黙認してまでも、多くの障害者の自由な移動を妨げようとする意図さえ感じられる。今のままの制度でETC化が進めば、割引制度自体が有名無実なものとなり、障害者の社会参加を妨げるものとして機能しつづける。

私事で恐縮ですが、大阪



ただ沈黙

に住まいを移したことによつて、これまでなぜこの制度の問題点が大きな話題にならなかったのかが分かった気がします。それは、要件を満たせる者には制度の問題点が見えてこないこともあり、障害者も多く、その力も強い大都会では、ほかの交通手段が発達し、自動車を利用する必要性が低いのです。(加えて阪神高速など、事実上手帳の提示のみの運用です)。しかし、何時間に一本というローカル線しかない地方に

住む障害者は、移動の手段は自動車に頼るほかなく、その思いは切実です。

今回、対応してください。たお二方は、多分、私たちが障害者の生の声をはじめて聞かれたのだと思います。

6月末にはこちら側の質問に対して何らかの答えがあるものと思われませんが、その答え次第ではあらたな行動も考えなければと思っています。

ピースファーストの沖縄レポート

時は6月16日の午後2時過ぎ。我らピースクラブの19名を載せたJAL2575便は沖縄本島を目指し、関西空港を飛び発つたのであった。夕方(と云ってもまだ陽は高いが)に那覇空港に到着した我々は3台のワンボックスカーと1台の普通車に分乗し、一路宿泊先の那覇レインボーホテルに向かう。19名一同に会しての夕食は最終日に残しておいて、各班ごとに夕食に出る。毅班(聡・猿

橋・河栄)の4名で国際通りの料理屋で定食を食しブラブラしながらホテルに戻る。

次は大浴場のある近所のホテルまでブラブラ。途中、向かいの道路に風呂上がり奥山班(奥山・郁也・岸本)確認。大浴場の暖簾を潜ってビックリ!どこかで見た顔が——新潟代表の小幡君が全裸でそこに立っていた。「おっっ!」と声をかけると彼も覚えていてくれたやうで、かなり嬉しかつ

ピースファースト

1973年、アメリカで始まった知的障害と呼ばれている人たちの人権意識を全国に広げることを目的として、日本では1994年から全国大会が始められ、去年の新潟に続いて今年沖縄での13回目の大会。ピースのメンバーも以前から参加。

たのだ。

2日目の朝は11時にロビーに集合なのだが、早くから起きていた毅班十瓶田の5名で、先に徒歩で会場の那覇市民会館へ。坂道を下り約30分到着。開場の準備が速く行われている中、新潟大会で会った人達に会う。そらそくか。同じ大会ですから。会場ではほぼ全員集合で着席。昨夜のうちに富古島から合流している朝子さんと岳も一緒。吉郎も来ている筈だが……。

全体会は滞りなく進み、前回と同様に厚生労働省・障害福祉専門官の大塚氏への質問というより突き上げがあつたが、前回より野次や罵声が少なかった印象がある。ふと周りを見渡すと吉郎と進一がいらない。手分けして探すが進一が見つからない。スタッフの手を借りて総動員で探す。進一発見の知らせはすぐに届いた。スタッフの皆さんおおきにでした。

夜のパーティー交流会場に着いた時、西村君が何か発見した。何と体長2メートル程のマカジキが釣り上がっているのだった。皆で押見に行ったのは云うまでもない。喰いたかつた！

会場では去年の大会に引き続き最前列のテーブルを

囲む。特等席だ。立食パーティーいや交流会なのだが、みんな食べることに夢中で交流はなし？私は時折、

新潟の小幡君に拉致され彼らのテーブルでしこたま吞まされる。デザートまで思い切り喰った後は、沖縄な

吉郎が宮古島に来て1年半を過ぎた。小さな島の小さな町のうわさはまたたく間に広がった。たむろする男の子達が、「吉郎！」と声をかける。近所が「吉郎君、最近Aコープに来てないけど、どうしたの？」と聞いてくる。吉郎も有名になつたもんだ！

ビデオシヨップ、スーパー、役所、学校、何処でも連れて行く。

「プリムヌ」(変人)と、障害のある人に対して偏見の塊の様なこの宮古島の人達が、吉郎が道

宮古島だより

を歩いている姿を毎日見ているだけで、気持ちが変わっていく。改めてすごいと思う。岳の友達も平気で入ってくる。吉郎がいる事が1年半過ぎた今普通になつてきている。

宮古島に帰つてきて仕事が無かつた私と、行き場の無かつた吉郎。これを運命の出会いと言ふのか？TVドラマの様な運命の出会い、これが、劇的な「愛」に変わる日が来るのだろうか？

(あひこ)

のでやっぱりエイサーさあ！最前列なので、かなり興奮！皆楽しそうだ。ます聡、続いて郁也がステージに乱入

して踊りまくる。すごい熱気に包まれてアンコール。まさに会場内大乱闘って感じでした。(つつく)

七夕瞑想
毎月、第1、3木曜日例のピースクラブ4Fホールにてヨガ教室。七夕前にはヨガ終了後、七夕瞑想をする。各自の願望を短冊に書き、瞑想する。最後に短冊を一斉に焼く。願望は実現する。今年は7月6日(木)

勝ちとる会・釜ヶ崎「炊き出し」活動丸15年記念
夏一番 盆踊り大会

とき：2006年7月9日(日) 夕方5時より
場所：西成・釜ヶ崎・三角公園・秋之茶屋南公園)

出演者：桜川唯丸(江州音頭)
国分家竹春(河内音頭)
秋洪琪(長島愛生園在住)
音頭バンド

(雨天中止)

食べ物、飲み物の屋台あり。みなさん楽しく踊りましょう！